

2022年度九州若手数学賞（受賞理由の確認）2名（あいうえお順）

第11回九州若手数学賞受賞者と受賞題目・受賞理由

宇治野広大・九州大学大学院数理学府・博士3年

業績の題目： 特異連続スペクトルのハウスドルフ次元の研究

受賞理由： 宇治野広大氏は、シュレディンガー作用素の特異連続スペクトルのハウスドルフ次元を完全に決定するなど優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会を含む研究集会において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。

久家 聖二・九州大学・数理学研究院・学術研究員

業績の題目： On Jacquet-Zagier's trace formula for Hilbert Maass forms and its applications

受賞理由： 久家 聖二氏は、保型形式とL関数の研究を行っており、弱正則モジュラー形式の零点配置に関する研究などについて優れた研究成果を論文として発表している。また、日本数学会九州支部例会を含む多くの研究集会において積極的に講演を行っている。この様に同氏は、九州地方で研究を行っている若手研究者として、十分な研究活動を行っている。